【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第３区分
【発行日】平成20年7月10日(2008.7.10)

【公開番号】特開2008-122064(P2008-122064A)
【公開日】平成20年5月29日(2008.5.29)
【年通号数】公開・登録公報2008-021
【出願番号】特願2007-282411(P2007-282411)
【国際特許分類】
Ｆ２５Ｄ　21/04　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ２５Ｄ　21/04　　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成20年3月25日(2008.3.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
冷凍機の蒸発器を収納する圧力容器と、冷却されるべき空気をこの圧力容器内へ圧入する空気圧縮機を備え、圧力容器と冷凍・冷蔵室との間に断熱処理を施した冷凍機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
冷凍機の蒸発器を収納する圧力容器と、冷却されるべき空気をこの圧力容器内へ圧入する空気圧縮機を備え、圧力容器と冷凍・冷蔵室との間に断熱処理を施す。
上記冷凍機の１方式として、蒸発器を収納する圧力容器について、蒸発器の風下部分を開閉できるようにする。
蒸発器を収納する圧力容器は、冷却されるべき空気が蒸発器を通過する部分では、大きさ、形状が蒸発器の大きさ、形状に合致し、冷却されるべき空気が蒸発器の外側を倍パスする量が極小となる様にする。圧力容器の圧入口、放出口を複数持ち、或いは、圧力容器内で、蒸発器の前部、後部に空気誘導版を設け、蒸発器のフィンに満遍なく空気が接触するようにする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２２】
１空気圧縮機
２圧縮空気配管
３圧縮空気圧入口
４圧力容器
５蒸発器
６冷媒配管を固定する側面の板

７冷媒配管
８空気放出口
９ドレン排水管
１０モーター
１１圧力容器前部
１２誘導版
１４圧力容器後部
１５除湿装置
１６膨張タービン
１７冷媒圧縮機
１８凝縮器
１９膨張弁
２０冷蔵室
２１断熱壁
２２断熱材

【手続補正４】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【図４】

